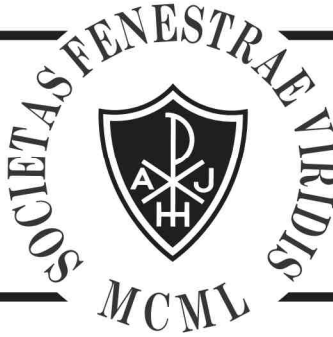


緑窓

第20号



青山学院中等部緑窓会会報
2011年(平成23年)4月5日発行
青山学院中等部緑窓会 発行人 崎田克巳
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL / FAX 03-3498-5387
E-mail: ryokusoukai@ceres.ocn.ne.jp
web site: http://www.ryokusou.net/

もうひとつのキャンパス

中等部緑窓会会長 崎田 克巳 (一四期)

緑窓会では中等部と協力して、卒業二五、五〇、六〇年目となる卒期の皆様を母校にお迎えし、お祝いする中等部ジュビリーズ式典を昨年、始めました。そして今年からは、卒業一〇、二〇、三〇年目の卒業生が久しぶりの友と再会する同期会の開催を、全面的に支援するプログラム「同期会サポート」をスタートします。これは仕事や家事、育児に追われる若い卒業生が、手間をかけずに集まることができるよう、同期会をパッケージで準備し、提供しようとするものです。

中等部は二〇一一年四月の新一年生から、学年の総人数はそのまま八クラスの編成に変わります。また、青山キャンパス全体を見渡せば、大学にはテニスコートがなくなり、新たに一七号館を建設中、高等部もキャンパスが一新されつつあります。

築後四五年余りたつ中等部の校舎も建て替えられるのは時間の問題でしょう。そうして母校の懐かしい風景がどんどん失われていきます。しかし少子化が進む時代に母校が生き抜いていくために、時代に合わせたキャンパスの刷新は不可欠です。

「同期会サポート」、そして卒業四一年目に期で担当する「緑窓会の日」、前述のジュビリーズ式典、と卒業からほぼ一〇年刻みでプログラムが巡ってきます。緑窓会では一連の活動を継続することにより、同期生の定期的な再会をサポートします。それは母校のキャンパスがどのように変わっていくとも、同期・同窓の仲間との交わりこそが私たちの懐かしいもう一つのキャンパスにほかならないと思うからです。さあ、母校のキャンパスを訪ねてください。お待ちしております。

今年は五月二十八日(土)に開催

第二二回「緑窓会の日」

実行委員長 平森 均 (二二期)



青山学院中等部卒業生の皆様、こんにちは。

中等部緑窓会の年間行事として「原点・祝祭・継続」をテーマに毎年開催している「緑窓会の日」は今回で二二回目を迎えます。担当する私たち二二期生は、皆様

に楽しんでいただける会にしたいと企画しております。

今回は二二期生で、歌舞伎役者、俳優として活躍されている坂東三津五郎さん(写真)をお招きし、歌舞伎舞踊「棒しばり」

をご覧ください。二五期生の片岡市蔵さんと三津五郎さんのご子息の坂東巳之助さん(五六期生)が共演し、長唄の杵屋直吉さん(二二期生)をはじめ、三味線や鳴物にも活躍されている中等部卒業生の出演を予定しております。

公演の前には礼拝、そしてお世話になった先生方をお招きして、短大食堂での茶話会も予定しております。お誘い合わせのうえ、青学講堂にぜひお出かけください。

なお「緑窓会の日」は例年六月上旬に開催しておりますが、出演者のスケジュールの都合により、今年に限り五月に変更して行ないますので、お間違えのないようお願いいたします。

第二二回「緑窓会の日」 プログラム・出演者の紹介

プログラム

◇礼 拝 お話 山北宣久青山学院院长

◇公演 長唄 「松の翁」

歌舞伎舞踊「棒しばり」

出演者紹介

舞踊 坂東三津五郎 本名 守田寿(二二期)。一九五六年生

まれ。五代目坂東八十助を経て、二〇〇一年一月に十代目

坂東三津五郎を襲名。歌舞伎役者、坂東流家元のほか幅

広く活躍中。二〇〇六年日本芸術院賞受賞、二〇〇九年

紫綬褒賞受賞、第三〇回松尾芸能賞大賞受賞。

片岡市蔵 本名片岡幸一(二五期)

坂東巳之助 本名 守田光寿(五六期)。坂東三津五郎の長男

長唄 杵屋直吉 本名 杵家吉彦(二二期)。一九五六年生まれ。

父親は十五世宗家 杵屋喜三郎。一九六九年に杵屋直吉を

襲名し歌舞伎での初舞台を踏む。一九九五年坂東玉三郎公演

より立唄として出演。一九九九年第二〇回松尾芸能邦

楽新人賞受賞。財団法人長唄協会、杵屋会、一中節都会

に所属し活躍中。

稀音家康三朗 本名皆川康(二五期)

杵屋正則 本名杵家正則(六〇期)

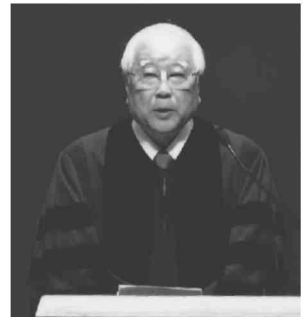
三味線 杵屋正園 本名古茂田健二(三二期)

鳴物 尾上青楓 本名羽鳥嘉将(四二期)

藤舎清幸 本名守田幸奈(五二期)。坂東三津五郎の次女

進行 星野真里 本名星野真理(四八期)

二〇一〇年六月五日 第二二回「緑窓会の日」報告 21期実行委員長 重光 昭夫



礼拝の笹森建美先生



清家篤さん



杵屋勘五郎さん(左)

第二一回「緑窓会の日」では、ご多忙な中、大勢の方々に参加い

ただき感謝の気持ちでいっぱいです。実行委員長をお引き受けしたものの、海外での勤務が多く、実行委員の皆さんに助けてもらい、当日を迎えることができませんでした。たくさんの良き同級生に恵まれたこと、そして皆様との絆の強さを改めて感じさせられたことに、心よりお礼を申し上げます。当日は、四〇年ぶりに笹森建美先生の礼拝で始まり、中等部時代の思い出が蘇ってまいりました。清家篤さんの講演は、特に高齢者に近づきつつある年代の方々に大変参考になったことと存じます。そして、舞台の装花を担当してくれた塩谷陽三さん。公演では杵家弘和さんの力強く心に響く長唄を初めて聞かせてもらい、同級生として誇りに思いました。副実行委員長として準備に尽力してくれた宮澤泰行さん、朗読の河崎早春さんをはじめ、裏方を務めてくれた男性陣、受付や茶話会で細やかな心遣いをしてくれた女性陣に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。「青山っていいよね。中等部って良かったよね」の思いを再確認し、皆様に感謝しつつ「私も更に頑張ろう」と大きな力をもらった一日でした。

親子で出演して思ったこと

杵屋勘五郎(杵家 弘和)

三人の息子と母校で長唄を演奏し、思い出深い一日とさせていただきました。長唄をより親しみやすく楽しんでいただけるとようにと歌詞を超訳し、その朗読で幕を開け、スクリーンには原文の字幕、舞台上は「ゴボ」という照明効果を施すという新しい試みにあふれた舞台となりました。「緑窓会の日」は同期生の多彩な才能と積極的な協力により支えられ、お互いの絆をより一層強くするチャンスとなりました。

秋分の日 青山学院大学同窓祭に三つの企画で参加

運動会で賞を贈呈

緑窓会定例役員会報告

緑窓会は昨年も九月二三日（祝）、あいにくの荒天の中、第一七回青山学院大学同窓祭(AOYAMA GREEN FESTIVAL)に参加しました。

「大学同窓祭」は一昨年より、幼稚園から短大までの各同窓会が参加して、「オール青山同窓祭」へと発展しています。それぞれの卒業生が母校へのなつかしい思いを抱いて一堂に会し、旧交を温めながら世代を越えて楽しめる機会となりました。

昨年のメインイベントは六代目三遊亭円楽師匠を迎えての「特席青山寄席」で、落語のほかトークショー、抽選会などがあり大盛況でした。

緑窓会は山本与志春中等部部长、教頭の山本節子先生をはじめ先生がたの協力をいただき三つの企画で参加しました。

【チャリティーバザー】色鮮やかなバンダラデシユ手工芸品は人気がありました。

【こだわりのコーヒー販売】富士山の湧き水で焙煎したブルーマウンテンとキリマンジャロの豆を挽いて入れました。三〇〇杯完売しました。

【公開講座】講師に森田誠司さん（二六期）を迎え、演題「小さな昆虫と自然環境―昆虫少年が大人になって」で初参加しました。昆虫の新種を発見したいという小学生からの夢を追い続け、日本中歩き回ったスライドを映しながらの講演でした。



学生ホールでのバザーとコーヒーショップ



森田誠司さんの公開講座

【写真提供：青山学院大学同窓祭実行委員会】

将来は中部の生徒たちに先輩の経験を伝える授業として発展させていけたらと考えています。次回の講師を募集中ですので、情報をお寄せください。



予定した10月9日は雨天で順延―好天の運動会

中部大運動会が、昨年の一〇月一日「体育の日」に青空の下、太陽をさんさんと浴びて開催されました。開会礼拝で箴言二七章一七節「鉄は鉄をもつて研磨する。人はその友によつて研磨される」が拝読されましたが、生徒たちが全力を出し切っている姿や、転んだ仲間を気遣いながら走る姿などに、その精神が遺憾なく発揮されていると感動しました。優勝した各学年のクラス全員に例年通り「緑窓会賞」として特製スポーツタオルを贈呈しました。

緑窓会副会長 松元茂（二六期）

◇二〇一〇年度第一回―五月二二日

二〇〇九年度活動・収支報告と二〇一〇年度活動・予算、会則第六条⑤、七条③、九条6の改訂、役員人事が討議され、承認されました。

名誉会長 山本与志春(中等部部长)

会長 崎田克巳―再※二期(14期)

副会長 松元茂―再※二期(16期)、富士野(佐々田)ゆかり―新(22期)

会計 小平昌邦―新(18期)、西本(高橋)由里子―新(18期)

監事 今村和久―再(10期)、伊藤正道―新(15期)

※一期は二年、三期まで。

【運営委員】

広報 門田美智子―再(8期)、永岡(佐久間)典子―新(18期)

名簿 倉持(山根)皓子―再(7期)、中野(窪寺)凱美―再(10期)、松田(三浦)百代―再(14期)

P C 梅原保―再(13期)、小平昌邦―再(18期)

H P 濱中(坂巻)浩子―新(20期)

広報補佐 岩永(谷村)晴美(6期)

◇第二回―二月一日

二〇一〇年度活動・収支の中間報告

二〇一一年度活動・収支計画、会則改訂が討議され、条文に(交通費の支給)第一七条が加わりました。

中等部を卒業して
25年－Silver
50年－Golden
60年－Diamond



2010年11月6日

Jubilees式典を開催しました

式典を開催して

中等部部长 山本与志春

二〇一〇年度から青山学院中等部ジュビリーズ式典を企画したところ、一三七人もの皆様にご出席いただきました。在校生や教職員にとつて、卒業後六〇年、五〇年、二五年を経た後も、中等部を生まれ育った故郷のように大切に思い、誇りとしてくださっておられる皆様をお招きできたことは、大きな喜びです。折しも前日の創立記念礼拝で先人の働きに感謝した後でしたから、卒業生の皆様が作られた伝統と母校を愛する思いによって、現在の中等部が支えられていることを実感する良い機会となりました。

この催しは、卒業生が中等部へもつと足を運んでくださるようにとの私どもの願いを汲んで、緑窓会役員の皆様が企画してくださったものです。初めてのことでしたから、手探りで準備を進めましたが、おいでいただき皆様をおもてなしする気持ちが、いろいろアイデアを生み、当初の思いよりずっと大きな形となりました。移動の際、階段が多く、案内も

不十分で、ご迷惑をおかけしたことなど申しわけない点もございましたが、役員や担当の皆様の献身的なお働きと皆様の寛容な心によって無事に実施できたことを、本当に感謝いたします。

お集まりいただいた皆様から、母校に来る機会ができたことや、現役の生徒の様子を見られたことなど、楽しい時間が過ごせたとの言葉をたくさんちょうだいしました。十分なおもてなしは出来ませんでした。十分な皆様ゆつくりと旧交を温め、思い出話に花を咲かせてくださったご様子や、この式が永久に続くことを願いますとのお便りの言葉に安堵し、励ましをいただきました。

式典の前に行われた中等部祭開会礼拝のお話は、例年副実行委員長の生徒が担当しておりますが、今回は二期生のお孫さんでした。そして、ジュビリーをお渡しした生徒は六二期生でした。六〇年という時間がそこに去来する思いがいたします。この式典が今後も、時の流れを越えて卒業生と中等部を結びつける絆となることを願ってやみません。



上－受賞者を代表し内海孚さん(1期)があいさつ
左－礼拝で生徒と一緒に讃美歌を歌う受賞者

「シルバー・ジュビリー」は三七期
 「ゴールド」は二期
 「ダイヤモンド」は二期、そして
 一期の方々に贈られました

ジュビリーを受賞して

二期幹事 高砂 雄一

中等部卒業六〇年を記念するダイヤモンド・ジュビリーを受賞しました。

終戦間もない時期、焼け跡や崩れ落ちたビルの瓦礫の山がまだ残る宮益坂を上って通った中等部。仮住まいの一号館から胸躍らせて引越した新校舎。誰からも何も強制されず、自由楽しく学んだ青春の中等部。

あの新校舎も毎日礼拝をした講堂も今はないけれど、ジュビリー式典の前に行われた在校生との合同礼拝で、甦ってきた六〇年前の数々の思い出。

「この六〇年の原点は中等部にあり」との思いを新たにしたいひとときでした。すばらしいジュビリー式典、ありがとうございます。

(右ページのタイトル内の写真は、二期を代表して山本先生から記念の盾を受け取る高砂さん)

卒業アルバムから



1951年—2期



1961年—12期



1986年—37期

二〇一一年の
 ジュビリー式典は
 一月五日(土)

シルバーは 三八期
 ゴールドは 一三期
 ダイヤモンドは 三期
 の方々に贈られます

三期生へ
 式典に参加しよう!

三期D組 飯村 肇

一九四九年春、我ら三期生は装いも新たな木造二階建ての校舎に入學した。そして中等部卒業以来六〇年経ち、いまや全員満七五歳を迎える。俗に言う「後期高齢者」となるのである。

二〇一一年秋、中等部は卒業六〇周年を祝して在校生徒との合同礼拝に始まる式典、懇親会を開催してくださることになった。

三期生はできるかぎり参加し、懐かしい少年少女時代に戻って、お互いの交遊を深め、母校の更なる発展を祈るうではないか!

◆対象の期の方々には、七月ごろに案内を送付する予定です。

正月 箱根駅伝を応援

一月二日、晴れ。往路。京浜急行立会川駅付近に通過予定時刻の一時前前の七時半に集合し、のぼりを二〇本立てる準備。一人二本持たなければと用意していたら、次々と「青学卒です」という方が集まり、のぼりは一人一本に。一区福田君が三位集団の前列で通過。大声援を送りました。伴走の原晋監督の車を見送り解散。即、崎田会長と松元副会長は電車に乗り、選手を追い越して箱根へ。五区小涌園前で松田君を応援。

三日、晴れ。復路。一時半ごろから往路の反対側で選手が来るのを待つ。一〇区を走る小林駿祐君のお祖父さまも一緒に声援を送る。九位の位置で通過。大喜びで「来年もここで」とみんなで約束をして、のぼりを片付けました。その後、日比谷、日本橋と混戦、激闘があることも知らずに。結果は九位。シード権がとれて本当によかった。来年も多くの方の応援をお待ちしています。選手の皆さん、感動をありがとうございます。

西本(高橋)由里子(一八期)

同期会
クラス会
便り



集合写真が撮影できなかったのでスナップから

この日の出会いで皆様から活力をいただけた気がします。次回もまた必ずお会いしましょう。出席こそが会を準備してくださった幹事の方々への協力になると思いますから。」

奥平(坂本)トヨ

一期
中・高等部合同同期会

二年に一度この時期にと、ほぼ決まっている会が、昨年十一月五日(金)アイビーホール青学会館の「ナルド」で開かれました。秋晴れにも後押しされ、「遅い昼食を」の時間も適切で、前回と変わらず出席は八二名でした。いつまでもお元気で若々しく、生徒と見分けがつかない先生方五名のご出席も得、華やいだひとときでした。二〇一一年には喜寿を迎える一期生ともなりますと、体調とて必ずしも万全とはいかず、これまで幾多の困難や哀しさをのり越えた笑顔は、どなたも素晴らしく、心に残ります。遠方からこの日に合わせて馳せ参じた方々等、少しずつの無理をされてのご出席でしょう。



七期
中・高等部合同
同期会
「古希を祝う会」

二〇一〇年十一月三日(土)。有楽町 ニュー東京七階「ラ・ステラ」で開催。二〇〇〇年、ミレニアム還暦を迎えた七期は、二〇一〇年七〇歳になりました。中等部から齋藤美沙絵先生、高等部から田中昭雄先生を迎え、一〇二名の元氣な同期生が集まりました。「古希」を迎え、元氣な仲間の多いことに感謝し、五〇年前の愛称で呼び合う楽しいひとときを過ごしました。

小浅(市村)邦子

九期

B組クラス会
「鈴木龍一郎君
土門拳賞受賞を祝う会」

いまを去ること五十有余年、われらが担任太田隆三先生は軟弱なる男子にカツを入れるべく那須の秘湯に座禅を組ませ、友とは一粒残ったアメ玉をなめ回せる仲間、男子たるもの志を持つと熱く軟鉄を打った。

鈴木龍一郎君はたぶんこの一番の成果だろう。高等部では山岳部に属し校舎の壁をよじ上り、大学は早稲田政経に進んでインド放浪の旅に。人生の志を、写真を通じて深く人生を見つめる世界に焦点を定めた。

そして二〇一〇年春もつとも權威



上-鈴木さんは前列右から4人目 右-受賞の対象作品

川瀬 忠夫

ある「土門拳賞」を受賞した。写真界ではこの賞が直木賞、木村伊兵衛賞が芥川賞とされるとか。われらB組仲間はこの快挙を祝おうと一〇月二三日、二十余名が集まった。欠席者はみな通信欄に鈴木君の受賞の喜びを記していた。さらにご入院中の太田先生には感謝の思いを色紙に託した。めでたいことで旧友が集まるクラス会の喜びはひとしおであった。



一四期

A組クラス会

JR大崎駅隣のThinkParkプラザ内、銀座アスターで、二〇一〇年一月二七日(土)にA組クラス会を行いました。

二八名(風邪で欠席が二名あり、残念!)という思いがけない多数の参加で、にぎやかで楽しい会となりました。

松原 嘉一、田村(中村)光江



二〇期

D組クラス会

二〇一〇年一月一三日(土)午後五時三〇分から、銀座・滝八―幹事(土幸)の甥が経営する和食の店―で開催。二七人が参加しました。中等部卒業後、なんと初めてのクラス会でした。けれども、変わってしまった友も、声を聞けば、「あーっ」と分かり、すぐに四一年前に戻ることができました(錯覚ですが)。



亡くなられた村上清五郎先生の思い出や、それぞれの近況を語り合いました。亡くなってしまった同級生は二人。孫が複数いる人もいれば、まだ幼稚園児を抱えた人もいて、人生いろいろあると感じました。

同じ場所での二次会では、他クラスからの飛び入り参加もありました。あつという間の楽しい五時間でした。新幹事も決まり、今後は元気なうちにまたクラス会をやるぞ!と意気込んで、再会を約束しました。

幹事―阿部 和人、土幸 悦郎
佐々木(長尾) 彰子、寺島 明美

お知らせ

二三期

第三回「緑窓会の日」

二〇一二年の「緑窓会の日」は、二三期生のアイデアをもとに催されます。中等部の「今」に目を向けながら昔日の思い出や夢に触れられる日を計画中。六月九日(土)開催予定です。

お楽しみに。

第二三回「緑窓会の日」実行委員会

◆定例役員会報告(三ページの会則改訂についてはウェブサイトをご覧ください。全文を掲載しています。

「同期会サポート」を開始

今年、緑窓会が卒業一〇、二〇、三〇年の期を対象に始める「同期会サポート」(二ページ参照)では、幹事の経験がない方でも担当できるような、次のような形で支援します。

◇開催日は「緑窓会の日」

◇会場はアイビーホール：提携して、三つの会場を特別予約しておきます。

◇往復はがき：文案、郵便代は緑窓会で用意します。

◇期の名簿と郵送用タックシール：同期会、クラス会を開催の際に、幹事の方に緑窓会事務局でさしあげているものです。

◇「サポーター」が相談にのります。

卒業後10年目ごとに集まる機会があります 2011年は		
10年目	今年度は開催せず	53期
20年目	「同期会サポート」	43期
30年目	「同期会サポート」	33期
40年目	2012年「緑窓会の日」の催しを準備	23期
50年目	Golden Jubilee	13期
60年目	Diamond Jubilee	3期
*25年目	Silver Jubilee	38期

中等部便り

★学年八クラス体制への移行

中等部は二〇一一年度より、「少人数教育を推し進め、丁寧な人間教育を推進する」との指針と、青山学院が掲げる命題、「人間教育の再創造」のための教育力向上を目指して、一クラス三二名・学年八クラス体制への移行と募集人員の変更を実施します。二〇一一年四月入学生から順次実施、二〇一三年度完全移行。

★二〇一一年度人事

部長 山本与志春
 教頭 山本節子

宗教主任 西田恵一郎

委員長―教研 有賀実男／

教務 津村裕子／指導 敷島洋一

学年主任―三年 朝野圭三／

二年 小田文信／一年 浦田浩

事務長 渡邊哲

★異動

【退任】伊東美香子先生(数学)

一九七四年より三十七年間奉職。

礼拝のオルガン奏者としても奉仕。

【就任】柳本真澄先生(国語)

三好文子先生(社会)



運動会組立体操 2・3年男子

年間行事予定

緑窓会

中等部

2011/4月			8日	入学式
5月	28日(土)	第22回「緑窓会の日」 「同期会サポート」	31日 ～6月3日	2年生―キャンプ 3年生―旅行
6月			8日	3年生―歌舞伎教室
9月	23日(金・祝)	大学同窓祭に参加		
10月	8日(土)	運動会で「緑窓会賞」贈呈	8日	運動会
11月	5日(土)	中等部Jubilees式典	5日・6日	中等部祭 *緑窓会の部屋
12月			17日	クリスマス礼拝
2012/1月	2日(月)・3日(火)	箱根駅伝応援		
3月			17日	卒業式

緑窓会 会計報告

2010(平成22)年度収支計算書

自 2010(平成22)年4月1日 至 2011(平成23)年3月15日

青山学院中等部緑窓会

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
会報送費	1,221,671	維持会費	5,088,624
会報制作費	910,350	62期入会金	822,000
事業費(緑窓会の日)	2,010,549	緑窓会の日	951,000
事業費(同窓祭)	65,965	同窓祭売上	48,200
事業費(Jubilees)	333,786	寄付収入	194,836
渉外費	44,090	預金利息	3,169
会議費	131,702		
旅費交通費	269,230		
通信費	219,718		
消耗品費	840		
水道光熱費	12,000		
支払手数料	2,620		
リース料	121,023		
事務用消耗品費	173,430		
寄付金	200,000		
HP管理費	202,755		
本年度支出合計	5,919,729	本年度収入合計	7,107,829
当年度収支差額	1,188,100	前年度繰越	8,934,515
次年度繰越	10,122,615		

会長 崎田克巳 / 副会長 松元 茂、富士野ゆかり / 会計 小平昌邦、西本由里子
 監事 今村和久、伊藤正道